

西川町 議会だより

2023

No.123

1
.16



新年のごあいさつ.....	2頁
定例会補正予算 ここに注目	4
7人の議員 が町政をただす.....	6
好転の兆しみえるも課題多し.....	14
議会活動の成果を 政策提言に	16
町民と議会の対話の集い.....	18
読者モニターの広場.....	20



令和4年12月13日(火)に、町内吉川地区にある西川町啓翁桜促成施設にて関係者による神事やテープカットが行われ、県内トップの生産量を誇る啓翁桜の出荷が、いよいよ始まりました。



※上記QRコードをスマートフォンなどで読み取ると、議会ホームページにアクセスします。

令和4年第4回定例会に提出された主な議案

【条例案等】

議案番号	件名	議案の主な内容
同意第4号	教育委員会委員の任命	松田光子さん(吉川)は令和4年12月22日をもって任期満了となるので、その後任として高橋美保さん(吉川)を任命する。
55号	財産(給食運搬車)の購入	給食運搬車を購入する。
56号	西川町議会議員及び西川町長の選挙における選挙運動の公費負担に関する条例の一部を改正する条例の制定	公職選挙法施行令の一部改正に伴い、選挙運動用自動車の使用及び選挙運動用ビラ等の作成の公営に要する経費に係る限度額を引き上げる。

【令和4年度各会計補正予算】

(千円以下の金額を四捨五入)

議案番号	会計	補正の主な内容	補正額	補正後の予算額
57号	一般会計(第6号)	①新型コロナウイルス感染症対策 3369万円 ②急を要する事務事業経費 8645万円 上記(※1参照)他は人件費の組替え	1億2015万円	63億5487万円
58号	国民健康保険特別会計(第3号)	マイナンバーカードの健康保険証利用申込支援事業に伴う委託料 1万円 被保険者からの申請に伴う傷病手当金 32万円 県への返還金 1337万円	1370万円	6億6982万円
59号	公共下水道事業特別会計(第1号)	西川浄化センターの需用費 255万円	255万円	1億8244万円
60号	介護保険特別会計(第3号)	令和3年度保険料剰余金基金積立 441万円	441万円	8億848万円
61号	病院事業会計(第2号)	コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分医薬費用経費 612万円	612万円	7億6842万円
62号	一般会計(第7号)	出産子育て応援交付金交付事業費 162万円	162万円	63億5649万円

ココに注目 4~5ページを参照

ココに注目 4~5ページを参照

一般会計の主な内容 ※1	
① 新型コロナウイルス感染症対策	テレワーク用職員端末を整備するためのパソコン整備事業委託料1324万円、都市部の駅中に「月山カフェ」をオープンするための出店準備委託料535万円、町内の社会福祉事業者を支援するための原油価格等物価高騰対策支援事業補助金760万円、新型コロナウイルスワクチンのオミクロン株対応ワクチン接種案内書郵便料29万円、原油価格・物価高騰に対応するための病院事業会計不採算地区病院の運営に要する経費612万円、水沢温泉館にテレワーク環境を整備するための整備工事請負費105万円など ココに注目 4~5ページを参照
② 急を要する事務事業経費	地域活性化起業人企業負担金420万円、弓張平公園支障電柱移転工事負担金370万円、特産品販売促進業務委託料110万円、郵便料100万円、国民健康保険特別会計財政安定化支援繰出金486万円、子育て支援医療給付費300万円、令和3年度子育て世帯生活支援特別給付金給付事業返還金208万円、重度心身障がい児・者医療給付金200万円、病院事業会計建設改良に要する経費1800万円、新規卒業者雇用奨励金10万円、経営所得安定対策推進事業補助金174万円、産業振興複合施設整備基本設計業務委託料154万円、除雪車両用修繕料2000万円、公共下水道事業特別会計事務費255万円、西川交流センターあいべ大ホール音響設備改修工事請負費247万円、町施設(役場、にしかわ保育園、西川小中学校、廃校施設)光熱水費1163万円など ココに注目 4~5ページを参照

令和4年第4回定例会

第4回定例会が、12月5日から9日までの会期で開催されました。今回も「啓翁桜議会」と銘打ち、議員全員が桜の花模様のネクタイやスカーフを身に付け、出荷を控えた県内トップの生産量を誇る啓翁桜のPRを行いました。

町からは条例案、補正予算案など9議案が提出され、慎重に審議した結果、全て全員賛成で可決しました。議案の一覧と審議結果は3ページの表を参照してください。

一般質問は7人の議員が11件について行いました。

下のQRコードをスマートフォンで読み取ると、議会録画が視聴できます。

12月5日(月)



12月9日(金)



▲今年もよろしくお願ひいたします

希望を胸に 新年を迎える

新年のごあいさつ

新型コロナウイルス感染症については、対策を講じながら感染者数は増減を繰り返しながら、第8波と言われる状況となっており、冬期間を迎えた今、インフルエンザウイルスについても注意しなければならぬ時期であります。

世界に目を向ければ、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻や、隣国中国でのゼロコロナ政策に対する抗議活動など、全世界が密接に関わり合う現代社会の縮図としての表れであり、対岸の火事として見過ごすことのできない情勢となっております。また、経済情勢も日々の生活へ大きな影響がでております。

このような厳しい状況を乗り越えるため、町民の皆さまにおかれましては、日々健康に過ごされたいこと、切に願うところであります。

議会では、昨年12月に政策提言を町に提出しました。今後も町民の皆様の声に真摯に耳を傾け、町と対話を重ねながら、より良いまちづくりのために努めてまいりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

新しい年が、町民の皆様にとって明るい年となるよう心よりご祈念申し上げます。

議長
副議長

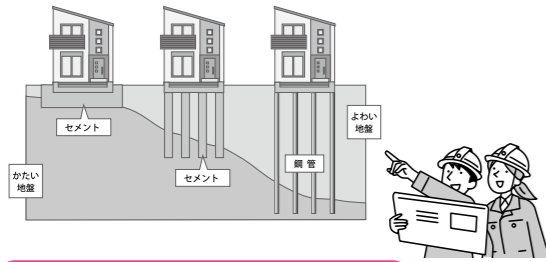
古澤 俊一
佐藤 耕二
伊藤 哲治
佐藤 幸吉
大泉 奈美
菅野邦比克
佐藤 光康
佐藤 仁
荒木 俊夫
後藤 一夫

産業

154万円

産業振興複合施設整備
基本設計業務委託料

西川町交流センターあいべ敷地内に建設するための地盤調査、基本設計を行うものです。



建築物の設計者のプロポーザル方式の背景はどうなっていますか。



産業振興複合施設の設計をした事業者がいまませんでした。どんなものがトレンドになっているか等、対話会を進めています。町民と一緒に作りたいたです。

※プロポーザル方式とは、主に業務の委託先や建築物の設計者を選定する際に、複数の者に目的物に対する企画を提案してもらい、その中から優れた提案を行った者を選定すること。

関係人口

535万円

「月山カフェ」出店準備委託料

関係人口創出のための拠点を東京・仙台の方面に作っていきたいという構想にもとづき、飲食で町の食の素材を提供し、西川町の良さを知っていた方が町を訪れていただくために整備するものです。



どのような事業者で場所はどこですか。また期間はどのくらいですか。



ワンプレートで提供できるものとドリンクの提供を考えています。メニュー開発出店計画の方法、どういった期間でやるかなどの調査や計画をもとに、どんな事業者が企画に応募いただけるかサウンディング調査を行い、令和6年に拠点のオープンを考えています。

※サウンディング調査（対話型市場調査）とは、町有地などの活用方法について、公募により民間事業者から広く意見や提案を求め、民間事業者と町との直接の意見交換による調査。

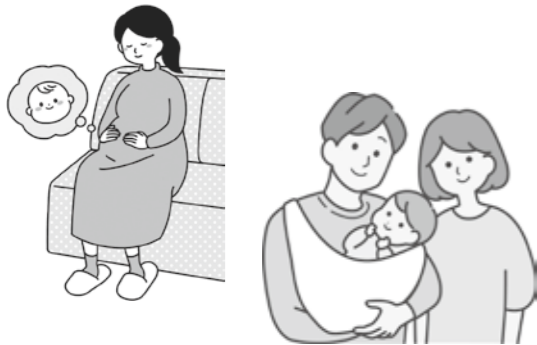
子育て

162万円

出産子育て応援交付金

令和4年12月2日に可決・成立しました国の第2次補正予算の中に、令和4年4月以降に出産された方を対象に出産子育て応援交付金を交付する事業が盛り込まれたことから、追加するものです。

内容は、妊娠が確認され母子手帳が交付されたときに5万円、出産が確認されたときに5万円が支給されます。



産業

420万円

地域活性化起業人企業負担金

都市部の民間企業が、最長3年間そのノウハウや知見を活かし地方自治体の要望に応じて、町がかかえる課題に対して解決できるように応援する制度です。

3年の期間が終了したらその後はどのようになりますか。



現在は一社から空き家を基軸とした地域課題ビジネスに取り組んで頂いております。今回は二社3名の方々にSDGsやゼロカーボンの西川町の今後の取り組みへの協力、道の駅機能強化の観点でご支援をいただきたいと想定しているところです。最長3年間、それぞれのミッションをやりきっていただき、終了後は町の方で業務を引き継いでいきたいと考えています。

商工・産業

105万円

水沢温泉館テレワーク環境整備工事費

町民や交流人口や関係人口で町を訪れた方が、テレワークで使用できる場所として整備するものです。新たな人の流れを生み出すために、大部屋、個室の4室の畳の上にカーペットを敷き、机・椅子を設置し、Wi-Fi環境等を整えるものです。



▲現在の水沢温泉館大広間

大広間に設置する机の数は何台ですか。また利用料はいくらですか。



4人掛けの机を大きい大広間に3台、小さいほうに2台です。利用料金は無料とし、テレワークや交流の施設として町内外多くの方に使ってもらいたいです。畳で利用したいなどニーズに合った対応をしていきます。

ここに注目 一般会計 補正予算

2億2177万円追加

総額 63億5649万円

関係人口の創出は 町民の憩いの場は SDGsや 子ども・子育ては ゼロカーボンは

一般質問

そこが聞きたい

7人の議員が町政をたずねます

町政全般にわたり、その課題等について町の考え方や疑問をたずねるのが一般質問です。
今回の第4回定例会では7人の議員が登壇しました。質問と答弁の内容を要約してお伝えします。

質問事項 (発言順)

- 荒木 俊夫 議員 P7
 - 1 今冬の雪対策について
 - 2 スクールバスや路線バスの安全対策について
- 菅野 邦比克 議員 P8
 - 1 ケーシーフレーム株式会社の現状は、また旧西部中学校グラウンドの管理について
 - 2 志津公民館建設の見通しについて
- 後藤 一夫 議員 P9
 - 1 西川町における今後の教育方針について
- 佐藤 幸吉 議員 P10
 - 1 菊まつり振興について
- 佐藤 仁 議員 P11
 - 1 インボイス制度が町に及ぼす影響と対応について
 - 2 自然災害を含めた有事及び医療の危機管理体制について
- 佐藤 光康 議員 P12
 - 1 6次総「はつらつ80代をめざして」の現状について
 - 2 入間地区での木質バイオマス発電と次世代型園芸施設について
- 伊藤 哲治 議員 P13
 - 1 町民アンケートの結果から町づくりの課題を探る

傍聴席からひとこと

【高橋 諒さん/吉川】

初めての傍聴でした。
議会と行政の迫力ある議論に
西川の未来を感じました。



※第4回定例会の傍聴者は延べ13人でした。

今冬の雪対策は

町 雪対策はとても重要な対策です

この町で「安心していきいきと心豊かに住み続ける」ために、今冬の雪対策について質問します。

町道除雪

問 町道や歩道等の除雪をどう実施しますか。

答 道路の除雪は、昨年と同様の出勤基準で午前8時まで完了することを目途に実施します。

問 居住する住宅があり除雪が未実施の町道はどうなっていますか。

答 町道宮下若林線と高瀬ウドヤシキ線については、地元と話し合いを行っていきま

問 除排雪対策に有効な流雪溝の整備はどうなっていますか。

答 現在、間沢地区から要望があり流量調査を行っています。今後も整備計画を立て前向きに取り組んでいきます。

融雪遅延対策

問 町道除雪の時間短縮や経費削減等のために、町民が無償で排雪場所を提供していただきます。春の農作業に支障が出る場合、町が責任を持って融雪処理すべきではないですか。

答 地区が行う融雪遅延対策について、豪雪対策本部の設置がなくとも補助対象とし、補助率を1/2から2/3にします。

除雪支援事業

問 高齢者世帯除雪支援事業の手続きを簡素化できないですか。

答 実績報告書について簡素化します。

問 補助対象外の方で、家庭の事情などで雪下ろしが困難な方にはどう対応されますか。

答 民生委員の方と状況を把握して審査していきます。

スクールバス・路線バスの安全対策は

町 安全対策の確認を堅持していきます

スクールバスや路線バスに係る園児、児童の安全対策について質問します。

安全対策

問 バスの置き去り対策はどうなっていますか。

答 安全対策の確認をこれからも堅持していきます。

スクールバス対策

問 スクールバスは児童生徒が望む運行になつていきますか。

答 柔軟に対応していきます。保護者会等と環境づくりを今後研究していかなければなりません。



▶町道稲沢線の除雪



※質問者の動画が見られます。



荒木 俊夫 議員



菅野邦比克 議員



※質問者の動画が見られます。

ケーシーフレーム株式会社の現状と旧西部中学校のグランド管理は

町 山形地方裁判所や先方の弁護士からは何も連絡は受けていません。グランドは令和5年4月以降町で管理します

ケーシーフレーム株式会社は、旧西部中学校のグランドの管理について質問します。

折衝経過と現状
問 9月以降の折衝経過はどのように行われていますか。

答 文書での送付も行ってはいますが、何も返事はありません。また山形地方裁判所や先方の弁護士からも自己破産についての連絡は受けていません。12月中に相手弁護士事務所へ飛び込み訪問したいと考えています。

グランド管理

問 グランドは木や草で荒れています。管理はどうなりますか。

答 令和5年4月以降町で管理します。担当課は総務課が担当します。今年、町で一回草刈りを行いました。

志津公民館建設の見通しは 地元のニーズをベースに 対応していきます

志津公民館

問 建設の見通しと本道寺地区会や志津町内会との話し合いは進んでいますか。

答 建設場所については見通しは立っていません。地元の方で話し合いが続けられています。

問 町で地盤調査をすることはできませんか。

答 対話を通じて行政を行ってまいります。ニーズをベースに対応していきます。

問 志津公民館の位置付けを今後志津公民館として整備することはありますか。

答 まだ地元でどういったものがいいのか決まっています。地元のニーズに基づいて対応します。

問 集会所として整備すると地区10軒位で維持管理をする必要があり。年間の管理費負担が大きくなり過ぎます。できれば公民館として整備はできませんか。

答 地元で何が求められているのか、計画がまれば地元が求めているものを造ります。ただし財政的な制約があります。



▲志津地区

西川町における今後の教育方針は

町 町民総がかりで次世代を育みます

全国的な少子化のなかで、校舎分離型・一体型の小中一貫校に移行する自治体が増加しております。今後の西川町の教育のあるべき姿、具体的な教育方針について質問します。

子どもの人数

問 来年度以降の小学校の入学予定人数は、どのような状況ですか。

答 現在、把握している人数は、来年度の令和5年度は23名、以降6年度20名、7年度15名、8年度16名、9年度22名、10年度15名、11年度13名の予定となっております。

学校教育の方針

問 西川町が目指す学校教育の方針は、どう考えていますか。

答 西川町では、以前から三本の柱を大切に教育を進めてきました。一本目の柱は、子どもの未来につながる土台を構築する教育、二本目は、地域との結びつきを大切に教育、そして、三本目の柱は、世代を越えてかかわりあう教育です。

教育の一本の柱

問 保育園、小学校、中学校を貫く、一本の柱となる教育方針はありますか。

答 一本の柱となれば、次のようになろうかと思えます。町全体を教室として、共有・協働・共生をキーワードに、町民総がかりで、次世代を育む、ということになります。

小中一貫校

問 山形県内での小中一貫校の開設状況はどうなっていますか。

答 小中一貫校、義務教育学校という形で開設しているのは、現在3校あります。また、開設を検討している市町村もいくつかあります。

問 小中一貫校のメリット、デメリットをどのように捉えていますか。

答 小学校を卒業し新たな校舎、中学校に入学する施設分離型小中一貫とすることで、子ども達も保護者も節目を実感して、学校生

小中一貫校の対応

問 西川町では、今後も児童数が減少していきます。小中一貫校について、今後どのように検討し対応していきますか。



▶6年生の授業風景



※質問者の動画が見られます。



後藤 一夫 議員



佐藤 幸吉 議員



※質問者の動画が見られます。

菊まつり振興は

町 経済効果を優先して取り組むよう検討してほしい

今年で87回を迎えた「西川菊まつり」について継続発展を図り、経済効果も期待される事業にするための方策について質問します。

答 菊づくりに参加するのは、敷居が高い、と言う意見が多い。実行委員会として、なぜそういう意見があるのか議論してほしい。また町として企画するのであれば、お金も出していきます。

問 西川町の花は、水芭蕉と菊ですが、いつどのような経過から指定されたのですか。
答 昭和59年10月町政施行30周年を記念して指定されました。菊は、秋を彩り気高く静かに咲き香る姿は平和な文化の里を目指す町民の崇高な精神と知性を表現しています。

問 菊づくりをする方の高齢化による後継者の育成が大切です。どう考えますか。
答 菊づくりに参加するのは、敷居が高い、と言う意見が多い。実行委員会として、なぜそういう意見があるのか議論してほしい。また町として企画するのであれば、お金も出していきます。

町の花菊の制定

問 西川町の花は、水芭蕉と菊ですが、いつどのような経過から指定されたのですか。
答 昭和59年10月町政施行30周年を記念して指定されました。菊は、秋を彩り気高く静かに咲き香る姿は平和な文化の里を目指す町民の崇高な精神と知性を表現しています。

観光面での祭り

問 コロナ禍前は3千人を超えた入場者がいましたが、観光面で活かす方法も検討しながら菊まつりを進めることが必要ではありませんか。
答 菊まつりの期間でも、町外から来る観光客数は通常と変わらない。観光には、活かされています。

問 これまでは菊づくりの技術的な面が強かったが、今後は関係団体と話し合い、経済効果を出すための工夫をしていく必要があると思います。
答 菊まつりを優先した方がいいという意見はありますが、今の意見をふまえて、町の事業として行うのであれば、町が企画します。



令和4年の菊まつり開会セレモニー

問 産業振興複合施設の建設場所は、菊まつりの定着したあつ場所でないか。
答 新たな土地を購入するのは難しいです。町有地であれば可能です。対話会を経て、ここがいいだろうと考えました。軒下に菊の展示場所を作れないかとなれば地方創生拠点整備交付金を申請するということが必要かと思っております。この交付金の申請書は1月20日まで出さなければならず、パース図を作ろうとしているところです。現段階では時間がなく考えにくいですが、重陽会の要望は、間沢区から出してもらいたいと回答しましたが、まだいたっていません。

財政確保

問 財政上の支援ですが、町からは、令和4年160万円補助があり、他に各団体の支援により運営している。菊人形一体の値段も高く企画面で大変です。そこで入場料などをいただくことについての見解はどうですか。
答 入場料については、額のことでもありますが入場者の減少にもつながると思います。実行委員会で議論していただきたいと思います。

インボイス制度が町に及ぼす影響と対応は

町 国のシステム改修補助金等商工会と連携し対応します

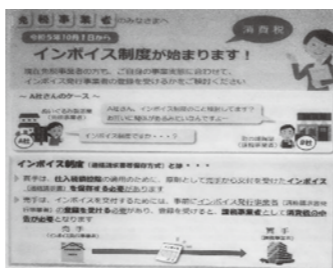
令和5年10月1日からスタートする予定のインボイス制度について、また、それに伴い事業者においては令和5年3月31日まで登録申請手続きをする必要があることをふまえて、質問します。

建設業への影響

問 建設業においては、元請さん・下請さん・その下に個人事業主の方による仕事の流れが多い訳ですが、一人親方の方を含めインボイスの登録をする、しないでは消費税負担の形態が変わりますが、業界からの問い合わせや相談はありますか。
答 建設水道課では、直接、質問や相談は受けていません。ただ、西川町総合建設業組合で、建設業のためのインボイスセミナーを西川町商工会で講師を招き開催するチラシを見たことがあります。

問 認識の違う点もあるようなので、お互い勉強せねばという点もあります。町の商工会に入っている企業に対しては商工会の対応を気にかけるながら、商工観光課や町民税務課と連携を図り広報等図っていきます。

問 建設水道課では、直接、質問や相談は受けていません。ただ、西川町総合建設業組合で、建設業のためのインボイスセミナーを西川町商工会で講師を招き開催するチラシを見たことがあります。



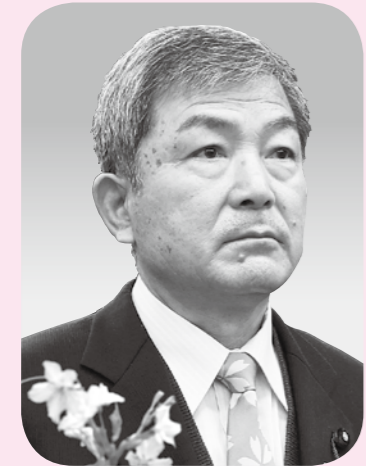
▲国税庁のインボイス制度チラシ

問 地震やミサイル発射時等、町長不在時の指揮命令系統についての責任者はどなたになりますか。
答 危機管理担当の佐藤総務課長になります。

町立病院の体制

問 コロナ感染症とインフルエンザの同時流行時の対応はどうなりますか。
答 国からの情報提供をふまえて対応していきます。

問 多くの方から、病院がかりつけ医になってもうためのPRも必要と思えますがいかがですか。
答 動画で病院の現状と活用していただきたい旨のメッセージを発信します。また、1階部分のLED化を行い物理的に明るい、愛される病院にしていきたいです。



佐藤 仁 議員



※質問者の動画が見られます。

問 売上高1000万円以下の個人事業主にあたるシルバー人材センターの会員の方や直売所などへ品物を納める生産者、そしてサクランボの時期など臨時で働きに行く方への影響や対応を、町としてどう行っていくますか。
答 建設水道課では、直接、質問や相談は受けていません。ただ、西川町総合建設業組合で、建設業のためのインボイスセミナーを西川町商工会で講師を招き開催するチラシを見たことがあります。

自然災害を含めた有事及び医療の危機管理体制は

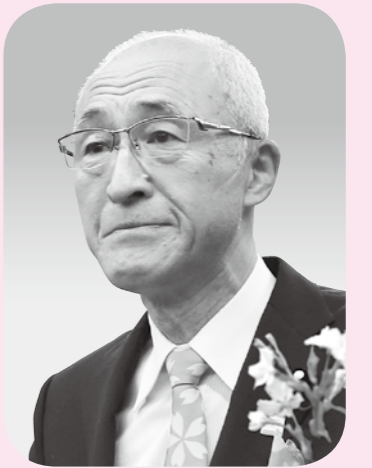
町 ミサイル発射時の避難施設は、町のHPやお知らせ版で周知を図ります

自然災害や北朝鮮によるミサイル発射、そして、コロナ感染症とインフルエンザの流行が心配されることをふまえて質問します。

避難施設の周知

問 町にはミサイル発射時等の避難施設を、横断地下道や交流センターあいべなど12か所ありますが、避難施設一覧表を町民に配布してはどうですか。
答 随時町民の方にはお知らせ等で注意を呼びかけていきます。

問 町にはミサイル発射時等の避難施設を、横断地下道や交流センターあいべなど12か所ありますが、避難施設一覧表を町民に配布してはどうですか。
答 随時町民の方にはお知らせ等で注意を呼びかけていきます。



佐藤 光康 議員



※質問者の動画が見られます。

6次総「はつらつ80代をめざして」の現状は

町 一人暮らし、老夫婦のみの世帯が増加

町は高齢者が安心してはつらつと暮らせる町をめざしてきました。その現状と課題について質問します。

問 町の高齢者人口はどのようになっていますか。

答 65歳以上の高齢者人口は今年の4月1日時点で2256人です。一人暮らし世帯は前年比18人増加、老夫婦のみの世帯は前年比18世帯増加しています。

問 今年の10月から一定の所得がある75歳以上の高齢者医療費窓口負担が1割負担から2割負担になりましたが、町内に該当者は何人おられますか。

答 138人(11.1%)です。

問 今年度から仕組みが変わり、支援を受ける高齢者が作業者に全額支払い、町の半額補助は、高齢者が領

収書などをまとめて町に申請した後にあります。高齢者の負担があまりにも大きくありませんか。

答 民生委員に提出作成と提出を今まで通りご協力お願いしたいと申し上げます。

問 今年から除雪支援費に上限10万円が設定されました。昨年10万円を超えたのは何世帯ですか。

答 昨年支援を受けた115世帯中、10万円を超えた世帯は15世帯です。

問 今年度対象とならない世帯は、いくつか出てくると思われますか。

答 ハード事業は町が補助金を活用して整備します。そのためには来年度、調査が必要ですが、どのくらいの費用がかかるのか、どういった企業が何社申し込むか、そのためにはしっかりとデータを集めなければなりません。



▶入間地区の木質バイオマス候補地

と感じています。また、園芸施設については指定管理を行う可能性もあります。コンベ形式で提案をいただいてその中で一番現実的なものを選択していきたいと思っております。

高齢者人口

町の高齢者人口はどのようになっていますか。

65歳以上の高齢者人口は今年の4月1日時点で2256人です。一人暮らし世帯は前年比18人増加、老夫婦のみの世帯は前年比18世帯増加しています。

今年の10月から一定の所得がある75歳以上の高齢者医療費窓口負担が1割負担から2割負担になりましたが、町内に該当者は何人おられますか。

138人(11.1%)です。

今年度から仕組みが変わり、支援を受ける高齢者が作業者に全額支払い、町の半額補助は、高齢者が領

地域公共交通

問 通学する子どもたちは家族に頼りながらのいでいるのが現状です。これから町を元気づけるためにも地域公共交通の在り方を町は今後どのように形づくっていきますか。

アンケートの結果から公共交通の充実を望む声が多く寄せられています。民間バス会社が撤退してから町内の民間事業所に委託し町民の足を守っています。今後の地域公共交通の在り方と課題について質問します。

答 地域公共交通の充実に対する満足度は年齢が低いほど低く、高齢になるに従って高い結果が出ています。路線バスのミーティングでも、高校のない我が町にとって通学する高校生や保護者にとってダイヤ編成がニーズに合っていない等が見られますので、道の駅にかかわる寒河江線の寒河江駅での午後2時台と同5時台、羽前高松駅・県立河北病院線の谷地高前での午後4時台それぞれの増便に向け、関係機関と調整を図っていきます。また、公共交通全体では利用者目線で使い勝手の良い体系となるよう努めていきます。

物販輸送

問 乗車人数が少ない日中帯の運行形態を物販輸送等にも対応するなど多種多様な形で運行できる地域公共交通体系への変更はできないのか、また、その場合拠点となるバスターミナルをどこに設置しますか。

答 しかるべき手続きを取れば、制度的には可能かと考えますが、ダイヤ編成、車両のやりくり、乗務員の対応、デマンドタクシーとの調整等が必要かと考えます。また、バスターミナルの拠点としては道の駅にかかわるできないものかと考えています。西部地区へのアクセス等整備もしやすくなると専門家より聞いております。町民との対話を重ねながら来年度からより良いダイヤ編成等実施できるように考えていきます。

利用の意識づけ

問 運行体系が不便だから利用しない家族に頼るなどの意識を、地域公共交通機関を積極的に利用することに、町中の活気を呼び起こす方向に意識改革を醸成することが必要と考えますが、どんな方策がありますか。

答 町民の方に利用していただくかと思っております。イベント開催時に無料で体験乗車していただくなど便利な事を体験してほしい。

委託条件

問 地域公共交通機関で働く従業員の雇用条件を向上させ、優秀な人材が集まるよう町の委託条件を見直す考えはありますか。

答 委託条件の見直しについては、これまでも打ち合わせを行い、



参考資料等いただき、積算を行い入札のうえ決めております。雇用条件については事業所にご努力をお願いいたします。委託条件の見直しについては、参考となる資料等に基づき、協議、確認を行いながら必要な見直しについては見直していきたいと考えております。燃料費の高騰に伴う見直しについては年度末の実績に基づいて清算をしていきます。



※質問者の動画が見られます。



伊藤 哲治 議員

好転の兆しみえるも 課題多し



令和3年度事業 行政評価 【事務事業評価】

議会による今年度の行政評価は、令和3年度に町が実施した事業のうち10事業について4つの視点ごとに25点、合計100点満点で評価しました。その結果を掲載します。評価に関する意見を記した評価シートは、議会ホームページに掲載しているほか議会事務局で閲覧可能です。



議会の総括

移住定住に要する経費、社会福祉協議会、老人福祉センター、仁田山放牧場事業で多くの課題が見えるものの、令和4年度事業において活発化している事業も見られることから、令和5年度にも引き続き期待をしたい。

<h4>評価のための4つの視点</h4> <p>必要性 ・町民に必要な事業か ・社会情勢から実施が適切か ・町が主体となって関与すべきか</p> <p>妥当性 ・他事業とサービスが重なっていないか ・他自治体と比べ適切か ・町民目線として適切か</p> <p>効率性 ・事業の手法は効率が良いか ・受益者負担は適正か ・コスト削減の余地はないか</p> <p>成果 ・事業の目的が達成されているか ・前年以前と比較し成果は上がっているか</p>	<h4>ふるさと納税 対策事務</h4> <p>必要性 21</p> <p>成果 19</p> <p>妥当性 19</p> <p>効率性 17</p> <p>76点</p>	<h4>月山湖 カヌースプリント 競技場</h4> <p>必要性 19</p> <p>成果 18</p> <p>妥当性 19</p> <p>効率性 16</p> <p>72点</p>	<h4>仁田山放牧場事業</h4> <p>必要性 13</p> <p>成果 12</p> <p>妥当性 13</p> <p>効率性 10</p> <p>48点</p>
<h4>移住定住に 要する経費</h4> <p>必要性 20</p> <p>成果 5</p> <p>妥当性 18</p> <p>効率性 5</p> <p>48点</p>	<h4>路線バス事業に 要する経費</h4> <p>必要性 23</p> <p>成果 17</p> <p>妥当性 24</p> <p>効率性 14</p> <p>78点</p>	<h4>小水力発電事業</h4> <p>必要性 21</p> <p>成果 17</p> <p>妥当性 22</p> <p>効率性 13</p> <p>73点</p>	<h4>二次交通対策事業</h4> <p>必要性 20</p> <p>成果 13</p> <p>妥当性 20</p> <p>効率性 15</p> <p>68点</p>
<h4>社会福祉協議会 補助事業</h4> <p>必要性 16</p> <p>成果 7</p> <p>妥当性 13</p> <p>効率性 8</p> <p>44点</p>	<h4>老人福祉センター 運営補助</h4> <p>必要性 15</p> <p>成果 7</p> <p>妥当性 13</p> <p>効率性 8</p> <p>43点</p>	<h4>マイロード 整備事業</h4> <p>必要性 19</p> <p>成果 16</p> <p>妥当性 20</p> <p>効率性 15</p> <p>70点</p>	<h4>主なコメント</h4> <ol style="list-style-type: none"> ふるさと納税対策…事業実施における委託料、事務手数料等の経費削減のため、システム(仕組み)の検討が必要である。 路線バス事業…個人の多様な意見や地域特性もあり、アンケートなども取り入れながら、住民のニーズに応え理解を得られる方策が必要である。 月山湖カヌースプリント競技場…艇庫建設の計画があるが、カヌー競技に関する全体ビジョンを作成し方向性を明確にすることが重要である。 小水力発電事業…地元にもう少し還元できればいいと思う。安定した収入となるようすべきである。 仁田山放牧場事業…今後は投資を減らして、採算に合う頭数を確保するにかかっている。民間業者に委託するなど、運営について考慮すべきである。

令和4年度 政策提言



議会活動の成果を提言に

議会から町へ政策提言書を提出



▲12月15日、菅野町長に政策提言を提出

社会福祉協議会のあり方について

I 提言の背景・趣旨

近年、人口減少と少子高齢化、毎年のように起きる自然災害、さらには新型コロナウイルス感染症拡大による経済的な影響や自粛生活などによって、町民が安心して暮らせる環境がおびやかされています。

そのなかで、社会福祉協議会は、「誰もが安心してくらすことができる福祉のまちづくり」をめざして、町や関係機関と連携しながら地域福祉の推進にあ

たってきましたが、人口減少・少子高齢化による地域の福祉力が低下し、ますますその重要性が高まっています。

ところが、西川町社会福祉協議会は職員数や財源が乏しく、住民や地域が求める福祉業務を十分に担うことができないのが現状です。

地域福祉の充実やボランティア活動の支援強化、災害時のボランティアや災害物資の受け入れや活動支援の充実に急務であると考え、次の提言をします。

II 提言内容

1. 社会福祉協議会の組織強化

(1) 町民の全世代が求めるきめ細かな福祉業務が計画的に実施できる職員数を確保すべきである。

(2) 福祉分野は業務内容が広くそして専門的であるので、専門職の職員（社会福祉士等）配置すべきである。

(3) 行政から指示された業務だけでなく、町民福祉の充実を図る事業を実施すべきである。

(4) 町民が納めている会費の確保とその有効活用を努めるべきである。社会福祉協議会は行政ができない分野を担っているのだから、町は補助金などの支援を強化し、財源の充実に努めるべきである。

二次交通対策について

I 提言の背景・趣旨

本町を目的地とする観光客の利便性の確保については、交流人口や関係人口の増加を目指す観点から、大変重要なものとなっております。

鉄道や空港、そして路線バスといった一次交通と、そこから本町へとつながる二次交通の連結、整備及び充実は、観光立町を標榜する西川町にとって欠くことのできない重要な事業であります。

多くの観光地から本町を選んでいただくには、東京や仙台などの大都市から、身近な存在であるように感じてもらうようにする必要があります。

このことから、平成27年度から実施されてきた二次交通対策事業



▶老人福祉センターでの所管事務調査

II 提言内容

は、令和5年度から始まる第7次西川町総合計画においても重要な観光戦略の一つであると捉え、その充実策について考えます。

二次交通対策事業はこれまでいくつか実施されておりますが、来年度以降も改善し、継続していく必要があります。内容の充実はもちろんのこと周知方法についてもSNSの活用を図り、デジタル化に対応した観光客の誘致へとシフトしていくことが望まれます。

したがって、今後の新たな変化に対応すべく、次の事項について提言するものであります。

1. 更なる充実策について

(1) 乗合タクシー「月山ライナー」

現在は山形空港とJRさくらんぼ東根駅を起点としているが、山形駅を起点としたルートも検討すべきである。

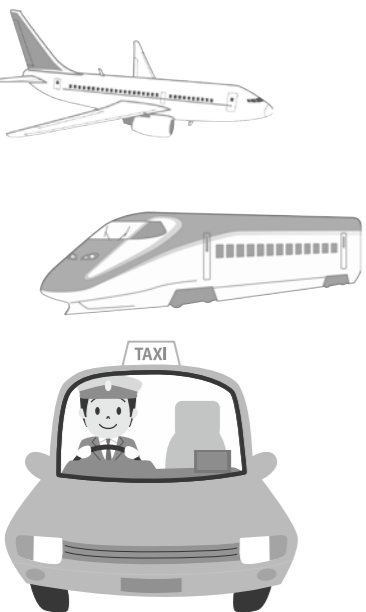
(2) 定額タクシー「西川インターアクセスタクシー」

高速道路バスストップ西川IC停留所の場所に問題があり、場所を変更すべきである。また、月山口停留所からのアクセスも検討すべきである。

2. 周知方法について

(1) ホームページ
西川町や一般社団法人月山朝日観光協会のホームページにおいて、二次交通について、誰でも簡単にアクセスし、必要な情報を選べるように整理すべきである。

(2) 制度の内容
PRパンフレットの簡潔化に努めること。わかりやすいように工夫すべきである。



(5) 近年頻発に発生している災害に対し、対応できる組織体制や訓練に努めるべきである。

(6) 社会福祉協議会の活動を充実させ、体制を抜本的に強化するために全世代からなる検討委員会を設置すべきである。

2. 老人福祉センター

(1) 温泉を活用し多くの町民が集え、老若男女問わず気軽に利用できる施設にすべきである。

(2) 老人福祉としてだけでなく、生活相談、ボランティア育成、災害対応など社会福祉全体の中心施設となるよう改善すべきである。

(3) 独自財源の確保や補助金を含め、財源の充実に努めるべきである。町民が納めている会費

議会の動き

議会全員協議会

- 12月2日 政策提言の進捗状況ほか
- 12月8日 政策提言書等最終調整

議会運営委員会

- 11月8日 令和4年第5回臨時会の運営
- 11月21日 令和4年第6回臨時会の運営
- 11月24日 令和4年第4回定例会の運営

総務厚生常任委員会

- 10月21日 月山湖カヌースプリント競技場及び西川町老人福祉センターに関する所管事務調査
- 11月8日 教育に関する所管事務調査
- 11月17日 事務事業評価、政策提言協議
- 11月25日 政策提言協議
- 12月8日 請願の審査、政策提言協議

産業建設常任委員会

- 10月6日 仁田山放牧場及び大井沢小水力発電に関する所管事務調査
- 10月13日 事務事業評価、政策提言協議
- 11月9日 事務事業評価、政策提言協議
- 11月16日 事務事業評価、政策提言協議
- 11月29日 事務事業評価、政策提言協議
- 12月8日 政策提言協議

広報公聴常任委員会

- 12月9日 議会だより123号編集会議
- 12月13日 入稿前編集会議
- 12月19日 第1回校正
- 12月23日 第2回校正
- 12月27日 第3回校正
- 1月6日 第4回校正、校了

その他

- 10月24日 山形県町村議会議員研修会
- 11月4日 大江西川両町協議会総会、研修会
- 11月7日 西村山地方議長協議会議員研修会
- 11月15日 西川中学校PTA役員の方々と町民と議会の対話の集い
- 11月17日 西川町総合建設業組合役員の方々と町民と議会の対話の集い
- 12月15日 事務事業評価報告書並びに政策提言書提出
- 12月20日 村山地方町村議会議長会議員合同研修会

議会の傍聴にお越しく下さい

面倒な手続きは何もありません。
ぜひお気軽に！
次回定例会は3月です
(3月2日から5日)

新型コロナウイルス感染症予防のため以下の対策にご協力ください。

- ①マスクの常時着用
- ②手指消毒の徹底
- ③座席の間隔の確保

第5回臨時会 ・ 第6回臨時会

第5回臨時会 11月11日

令和4年第5回臨時会が11月11日に開催され、今回は補正予算案1件が上程され、全員賛成で可決しました。
議第53号 令和4年度一般会計補正予算(第5号)

内容は、コロナ禍における物価高騰対策及び急を要する事務事業の経費にかかる補正です。
急を要する事務事業の経費にかかる補正については、まちづくり

の要望をしております。また、小学校の1、2年生が早く帰る日があるというところについては、バスの時間の関係で子どもたちが昼から午後4時まで待たなければならないというところで、そのことに関しても対応していただけないかと要望しております。

現在、西川小学校、中学校において、不登校の子どもたちがいます。子どもたちはもちろん、保護者の方々も集まることができない場所が必要だと思えます。サテライト・オフィスを活動の場として活用できないかといった声もあります。

第6回臨時会 11月24日

令和4年第6回臨時会が11月24日に開催され、今回は条例案1件が上程され、全員賛成で可決しました。
議第54号 西川町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定

内容は、本町の一般職の職員の給与に関する条例の一部について、



町民と議会の対話の集い

令和4年11月15日(火)に西川中学校PTA役員のみなさんと、11月17日(木)に西川町総合建設業組合役員のみなさんと、対話の集いを開催し、多くのご意見をいただきました。意見交換の詳しい内容については、「実施報告書」を作成し、町ホームページに掲載していますので、ご覧ください。
今回の議会だよりでは、対話の集いでのご意見等を紹介します。



▲西川中学校PTA役員のみなさん

参加者の方々の声

★保護者等の意見をまとめて、11月7日に要望書を作成しました。内容の主だったものとしては、通学路に関する危険な場所について何とか対処できないかという声が多く寄せられたことを受け、自転車通学に関しては、夜間通行する際の街路灯を増設してほしいという要望を、さらに、道路の草刈りが不十分で道幅が狭くなっている箇所への対応について

★現在、西川小学校、中学校において、不登校の子どもたちがいます。子どもたちはもちろん、保護者の方々も集まることができない場所が必要だと思えます。サテライト・オフィスを活動の場として活用できないかといった声もあります。



▲西川町総合建設業組合役員のみなさん



★他の市町村では不登校の子も受け入れるセカンドスクール等もあり、受け皿になっていきます。家と学校だけでなく第3の場所があれば、また社会に出ていくつながりができてくるのではと思っております。

参加者の方々の声

★2年前位から材木が値上がりし、現在高止まりしています。材木が無い訳ではありませんが、これまで30坪2千万位で建てられた家が、2500万から2800万円近くになっており、3千万円近い場合もあります。また、住宅の設備も品薄で値段が高止まりしており、大変な状況になっていきます。

★町の補助金で仕事をさせていただきました。今もLDKの仕事をしていただけていますが、町内の定住している方の新築物件がここ数年極端に少ない。若い人は若者向けアパートのようなところに住んでいるが寒河江、山形、天童関係に、子どもが

★以前は2年先、3年先まで仕事が見えていたが、近ごろは来年度の仕事をさえ見えない状況です。人口が少なく、町内の仕事だけでは食べていけないのが現状です。仕事をどうやって探すか、今回のようにみんなが集まって話す場がこれからも必要だと思えます。



ご参加いただき、ありがとうございました。

西川中学校PTA役員のみなさんとの対話の集い

西川町総合建設業組合役員のみなさんとの対話の集い

知りたい!!聞きたい!!

～議会だより122号のアンケートより～ 読者モニターの広場

西川町議会だより読者モニターの皆さまからたくさんのご意見などが寄せられました。その中のいくつかを広報公聴常任委員会からの回答とともに紹介します。

M.Aさん



【表紙「にしかわ保育園運動会」について】

保育園の子どもたちが楽しく走っている様子が見られていいと思います。子どもの笑顔があると、手に取って見たくなくなってしまいます!元気をもらえていいですね。

ありがとうございます。子どもの笑顔が表紙にあると、やはり手に取ってしまいますよね。我々も皆さんからのアンケートから元気をいただいております。



K.Hさん



【決算特別委員会（担当課説明、審議、採決）を読んで】

時代のニーズに合わせて行っていくことを願います。タブレット授業も普通に組み込まれているし、これは本当に便利だと思いました。啓翁桜は、各市町村でも作っているため、西川町ならではのアピール性を入れながら届けて頂ければ、うれしいです。(手書きのメッセージやがっさんくんのポストカードを入れたら、心が和む)

時代のニーズに合わせて行くことはとても大切なことだと思います。我々議会でもタブレットを導入し、ペーパーレス化に取り組んでいます。独自のアピールいいですね!啓翁桜のやさしく、明るい雰囲気合わせたものなど良さそうですね。



Y.Yさん



【決算特別委員会（担当課説明、審議、採決）を読んで】

マイナンバーカード交付率 75%を目指し、町・商工会ほか各団体が目標達成に向け協力しあっていることはすばらしい。

マイナンバー交付率については、山形県1位で、全国でも上位となっております。町民のみなさんの意識の高さの賜物だと思います。凄いですね!



I.Yさん



【その他】

今回、モニターをさせていただき、恥ずかしながら、初めて隅々まで読ませていただきました。西川町の現状と問題点を知るためにも、とても大切な広報誌だと改めて感じました。今後共、よりわかりやすく読みやすくだよりをお願いいたします。

お忙しいところ、本誌モニターになっていただき、また、大変ありがたいご感想もいただき、感激しております。これからも、西川町についてご理解いただくための一助となれるよう、我々議員も頑張っております。



ご感想をお寄せください

西川町議会では10名の町民の皆さまに議会だよりの読者モニターをお願いし、今回から新たなモニターの皆さまが担当します。アンケートで寄せられたご質問やご意見には、きちんとお答えしています。読者モニター以外の方もお気軽にお問い合わせください。

ファクシミリ：74-2601 住所：海味510番地
メール：giji@town.nishikawa.yamagata.jp

委員	後藤 一夫
委員	佐藤 仁
委員	菅野 邦比克
副委員長	佐藤 光康
委員長	大泉 奈美
《編集委員》	
議長	古澤 俊一

(佐藤 光康)

昨年の12月に放映されたNHKテレビ「限界集落に住んでみた山形編」は、本道寺月岡集落の高齢者の元気な姿を映し出し、視聴者に大きな反響を呼びました。
「コロナ禍のなかではありますが、少しずつ町や地区の行事が復活しています。私の地区でも、久しぶりに秋祭りを行い、グランドゴルフや健康まつりの後にお餅が振舞われ、地元の人たちの笑顔が飛び交う機会となりました。町内外の交流も活発化しています。お互いにリスペクト(尊敬)しながら、素敵な笑顔が広がる年になりますことを心より期待します。」

編集後記